

令和5年度 盛岡中央高等学校附属中学校

一般入試 前期 算数 模範解答

受験番号	氏名

1

(1)	(2)	(3)	(4)	□
3016	60	$\frac{8}{9}$	18.8	
(5)	(6)			
$\frac{8}{5} \left(1\frac{3}{5}\right)$	99900			

2

(1)	(2)	(3)	(4)	□
999	105	$\frac{2}{7}$	165 ページ	
(5)	(6)	(7)	(8)	
10 枚	30 度	15 cm	768 cm ³	
(9)	(10)	(11)	(12)	
3 m	13 %	22.5 m	24 通り	

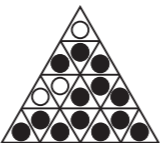
3

(1)	□
4.8 cm	

4

(1)	□
時速 3.6 km	

5

(1)	(3)	□
340		
(2)		
4095	2023	

3

(2)
<p>(例) AとDを結んでできる三角形ADCの面積は、$6 \times 6 \div 2 = 18 \text{ cm}^2$となる。三角形DCFと三角形DAFの底辺をそれぞれCFとAFとすると、この2つの三角形の高さは等しいので、面積の比は底辺の長さの比と等しくなる。よって、三角形DCFの面積は、$18 \times \frac{4.8}{10} = 8.64 \text{ cm}^2$</p> <p style="text-align: right;">答え (8.64) cm²</p>

4

(2)
<p>(例) 観光船がP地点からB地点まで進む間に、「観光船とカヌーが進んだ距離の差」と、観光船がB地点からQ地点まで進む間に、「観光船とカヌーが進んだ距離の和」は同じである。また、前者のときの「観光船とカヌーの速さの差」と、後者のときの「観光船とカヌーの速さの和」は、観光船の静水時の速さに等しいので、観光船がP地点からB地点まで進むのにかかった時間と、B地点からQ地点まで進むのにかかった時間は等しい。よって、観光船がP地点からB地点まで進むのにかかった時間は、$40 \div 2 = 20$分なので、観光船の下りの速さは、$6 \div \frac{20}{60} = 18$より、時速18 kmとなる。したがって、観光船の静水時の速さは、$18 - 3.6 = 14.4$より、時速14.4 km</p> <p style="text-align: right;">答え 時速 (14.4) km</p>

